

<テーマ>

Economic and Security in the Indo-Pacific region and Prospects for Singapore-Japan Cooperation

<講師>

駐日シンガポール共和国特命全権大使

オン・エンチュアン 閣下



<経歴>

2023年6月12日から駐日シンガポール共和国大使を務める。2023年9月25日、天皇陛下に信任状を捧呈。

1994年にシンガポール外務省へ入省。2016年5月から2023年5月まで、外務省の副事務次官（マネジメント担当）を務める。副事務次官就任以前の2012年4月から2016年4月まで、駐ベルギー王国のシンガポール大使を務め、欧州連合、オランダ王国、ルクセンブルク大公国も兼任。また、EXPO2025 大阪・関西万博におけるシンガポール陳列区域の政府代表も兼任する。

2009年1月から2012年2月まで、北東アジア局局長を務める。在京シンガポール大使館には過去に二度勤務しており、2005年9月から2008年12月までは首席公使兼公使参事官、1996年11月から2000年1月までは一等書記官（政務担当）を務める。2002年12月から2004年1月までは、当時の外務大臣 S.ジャヤクマールの特別補佐官を務める。2004年2月から2005年8月は、在ワシントンのシンガポール大使館にて参事官（政務担当）を務める。

1968年生まれ。1993年、日本政府文部省の奨学金により、工学学士号を取得して東京工業大学を卒業。2002年には、フルブライト奨学金により、米国のスタンフォード大学にて国際政治学の修士号を取得。また2002年には、ワシントンDCにある戦略国際問題研究所のプリッツカー国際フェロー。

2014年に行政勲章（銀）、2017年には永年勤続賞を受賞。妻は、エスター・プア・ブーン・シー、娘1人。